

ひろしま留学フォーラム2019 ～「世界」は人生を広げる～

令和元年11月17日（日）13時から16時30分まで、広島市中区の合人社ウエンディ・ひとまちプラザにおいて「ひろしま留学フォーラム2019」を開催し、県内外から100名を超える中学生や保護者、教職員等が参加しました。本フォーラムでは、留学の魅力を発信することを目的として、文部科学省担当者による「トビタテ！留学JAPAN」の制度説明や、特定非営利活動法人グローバルな学びのコミュニティ・留学フェロシップ 留学キャラバン隊によるワークショップ、実際に留学を経験した県内高校生等との座談会を実施しました。

参加者からは、「もっと色々な国に行ってみたくなり、留学へのモチベーションが高まった」「留学を考える上でとても参考になり、充実した半日だった」などの感想が寄せられ、「世界は人生を広げる」というキャッチフレーズにあるとおり、「留学」というテーマを通して自分の未来について考えるひとときとなりました。

◆「トビタテ！留学JAPAN」制度説明（13:10～13:50）

現在、第6期生を募集中の「トビタテ！留学JAPAN」の制度や魅力等について、文部科学省の加藤賢一様より御説明いただきました。

成績不問で返済不要の給付型奨学金を利用して挑戦する「好きなこと留学」の制度に興味をもった中学生や高校生も多く、会場は熱気に包まれました。



◆NPO法人留学フェロシップ・留学キャラバン隊によるワークショップ（14:00～15:30）

留学フェロシップ・留学キャラバン隊から、高島峻輔様、山崎詩乃様、西貝茂辰様、森田恵美里様、伊東菜々美様、後藤悠香様の6名のメンバーにお越しいただきました。

海外大学進学を果たした少し年上の先輩としての立場から、留学した動機や留学を通して自分がどのように変容したか等のエピソードを交えながら、主体的な進路選択について語っていただきました。

留学の楽しさも厳しさもリアルタイムで経験しているメンバーの生の声を聴いて刺激を受けた参加者から、「自分に自信がなくもやもやしている生徒にこそ聞かせたいお話だった」「留学の良さも大変さもどちらも伝わり、進路の1つとして海外留学を考えるきっかけとなった」など、たくさんの感想が寄せられました。



◆座談会～留学経験者との交流～（15:40～16:20）

座談会では、アメリカ、イタリア、インドネシア、オランダ、カンボジア、台湾、タンザニア、チリ、ノルウェー、フィジー、香港等へ留学した県内の高校生・大学生等14名をゲストとしてお迎えし、小グループに分かれて交流を行いました。参加した中学生や高校生は、限られた時間の中、最後まで熱心に語り合い、アンケートでは、「同年代で既に留学を経験した人の話を聞いたのが、貴重な体験となった」「不安の解消にもなったし、経験談を聞いて留学を具体的にイメージできるようになった」などと大変好評でした。

